

武田神社宝物殿

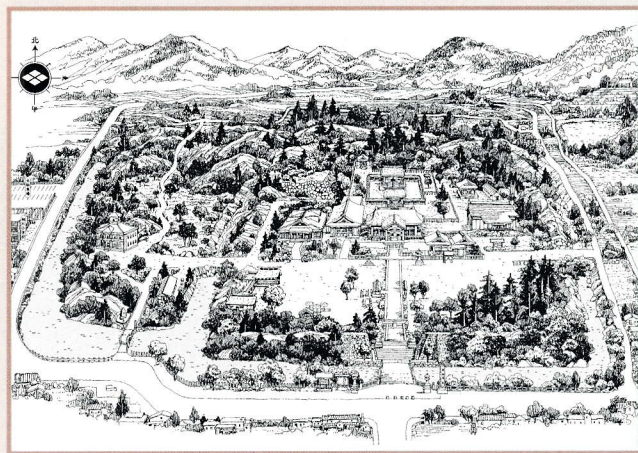
拝観のしおり



当神社は御祭神在世中の居館、躑躅ヶ崎館跡に鎮座しております。

躑躅ヶ崎館は、永正十六年(二五二九)信玄公の父君信虎公が石和館(現甲府市川田)より移り、天正九年(二五八三)晴信公の子、勝頼公が新府(現韮崎)に移るまで六十三年の間、甲斐武田氏の本拠、甲斐の政庁として天下にその名を轟かせました。周囲には武田二十四将を始めとする諸將の屋敷が立ち並び、さらには職人町もあり、初期の城下町を形成致しております。

前面(南)に甲府盆地、遠くは霊峰富士をはじめ甲斐の連山を望み、後方(北)に石水寺、要害山を控えた景勝の地で、境内は樹木が杜を作り、豊かな緑に包まれています。周囲の堀、土塁等は当時のままで、戦国時代第一級の居館と賞賛される「躑躅ヶ崎館」の往事を偲ばせるものです。境内地は、昭和十三年(一九三八)国指定史跡に指定されています。



武田神社

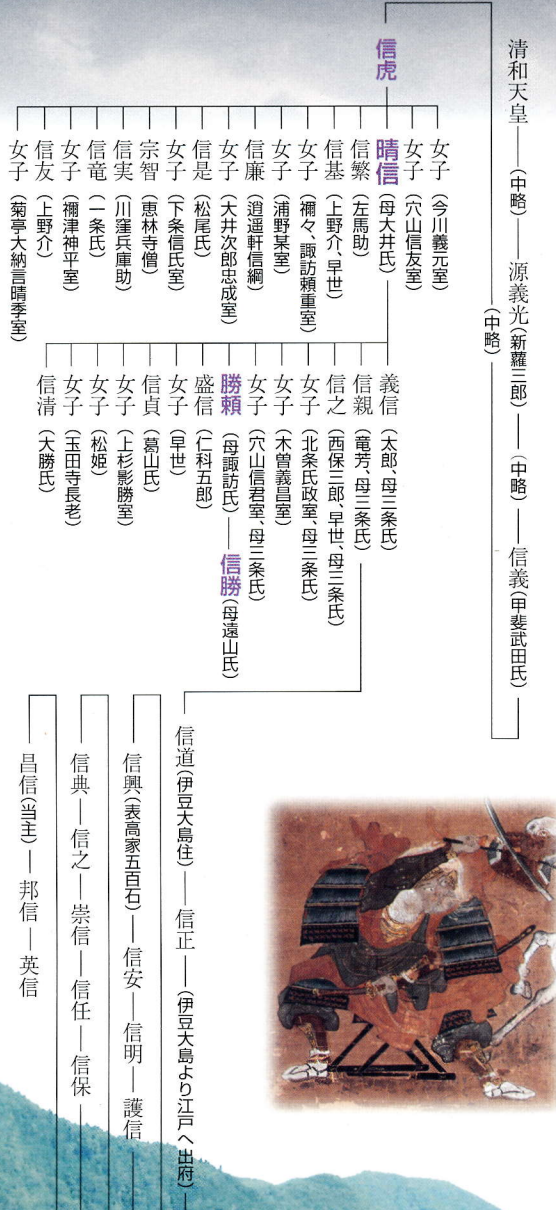
鎮座地 山梨県甲府市古府中町2611
電話 055(252)2609
URL <http://www.takedajinja.or.jp/>
【モバイルサイト：<http://www.takedajinja.or.jp/i/>】



武田信玄公略年譜

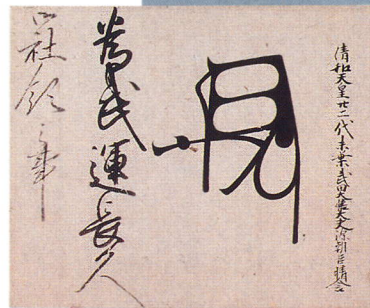
年号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37																																										
年	1519	1520	1521	1522	1523	1524	1525	1526	1527	1528	1529	1530	1531	1532	1533	1534	1535	1536	1537	1538	1539	1540	1541	1542	1543	1544	1545	1546	1547	1548	1549	1550	1551	1552	1553	1554	1555																																										
事	12 信虎、石和川田館を甲府國鴨ヶ崎に移す。翌年要宮城を築く。	11・3 武田信玄誕生。幼名大助。この年大助、上杉朝興の女を妻に迎える。	11 大助の妻上杉氏、難産の為死去。	3 太郎元虎、従五位下大膳大夫となり、將軍義晴の偏諱を得、晴信と名の。この年晴信、三条公頼の女を妻に迎える。	5 信虎、諏訪氏らと海野氏を攻める。	6・14 晴信自立。	6 晴信、諏訪頼重を攻める。	7・21 頼重、甲府で自殺。	9 晴信、高遠頼継を破る。	四郎頼重生まれる。	6 晴信、甲州法度之次第を制定。	2・14 晴信、村上義清と中原に戦って敗れ、板垣信方戦死。	7・19 小笠原長時を塩尻峠で大破する。	5・7 晴信の母大井夫人没(五十五歳)	11 大助義信、今川義元(女)を娶る。	4・9 晴信、葛尾城を攻め、村上義清、長尾景虎を頼る。8 晴信、景虎と川中島に戦う(第一回川中島戦)。	7・19 晴信、景虎川中島戦う(第二回川中島戦)。圍10・5 今川義元の調停で甲・越の和成る。	8 甲・越両軍、水内郡上野原に戦う(第三回川中島戦)。11・19 晴信、女北条氏政妻の安産を誓士御室淺間神社に祈る。	1558 永祿元	1559 永祿二	1560 永祿三	1561 永祿四	1564 永祿七	1565 永祿八	1566 永祿九	1567 永祿十	1568 永祿十一	1569 永祿十二	1570 元亀元	1571 元亀二	1572 元亀三	1573 天正元	1574 天正二	1575 天正三	1576 天正四	1577 天正五	1578 天正六	1579 天正七	1580 天正八	1581 天正九	1582 天正十	1583 天正十一	1584 天正十二	1585 天正十三	1586 天正十四	1587 天正十五	1588 天正十六	1589 天正十七	1590 天正十八	1591 天正十九	1592 天正二十	1593 天正二十一	1594 天正二十二	1595 天正二十三	1596 天正二十四	1597 天正二十五	1598 天正二十六	1599 天正二十七	1600 天正二十八	1601 天正二十九	1602 天正三十																		
事	4 武田信繁、家訓九十九カ条を定める。9 善光寺如來を甲府に移す。この年晴信、信濃守護に任ぜられる。	5 信玄、信濃松原神社に祈願文を納める。(信玄)の初見。	この年、信玄理完成。海津城を築く。	9・10 甲・越両軍、川中島に戦い、信玄の弟信繁が戦死する。(第四回川中島戦)。	8 川中島対陣。第五回川中島戦。	この年快川田部、恵林寺へ再入山。	11 勝頼、織田信長の養女遠山氏を娶る。	9・29 上野箕輪城を攻略する。	10・19 信玄の長子義信死去。11 信玄の女お松、信長の嫡子信忠と婚約。この年、今川氏真、甲斐への婚約の輸送を止める。勝頼の子信勝誕生。母遠山氏死去。	2 信玄、徳川氏と駿・遠両國の略取を盟約し、12・13 駿府を占領。氏真、掛川に逃げる。	4 將軍義昭、信長、輝虎に甲・越和議を重ねてすすめる。この年信玄、駿河・武藏・上野・相模と転戦。	7・28 信玄の妻三条氏没(五十歳)。	12 本願寺願取、信玄に好みを通ずる。	11 海賊衆を伊勢に募る。12 北条氏政と舊紙を交換。甲・相同盟復活。	5 信玄、將軍義昭の内書を返ける。	9・23 山内信昌の兵、甲府を出発。	10・3 信玄、大群を率いて甲府を出発。10・10 遠江に進攻。11 下旬の二保城攻略。	11・14 信玄の將秋山信友、美濃岩村城を攻略。12・22 三ヶ原の合戦。	4 武田信繁、家訓九十九カ条を定める。9 善光寺如來を甲府に移す。この年晴信、信濃守護に任ぜられる。	5 信玄、信濃松原神社に祈願文を納める。(信玄)の初見。	この年、信玄理完成。海津城を築く。	9・10 甲・越両軍、川中島に戦い、信玄の弟信繁が戦死する。(第四回川中島戦)。	8 川中島対陣。第五回川中島戦。	この年快川田部、恵林寺へ再入山。	11 勝頼、織田信長の養女遠山氏を娶る。	9・29 上野箕輪城を攻略する。	10・19 信玄の長子義信死去。11 信玄の女お松、信長の嫡子信忠と婚約。この年、今川氏真、甲斐への婚約の輸送を止める。勝頼の子信勝誕生。母遠山氏死去。	2 信玄、徳川氏と駿・遠両國の略取を盟約し、12・13 駿府を占領。氏真、掛川に逃げる。	4 將軍義昭、信長、輝虎に甲・越和議を重ねてすすめる。この年信玄、駿河・武藏・上野・相模と転戦。	7・28 信玄の妻三条氏没(五十歳)。	12 本願寺願取、信玄に好みを通ずる。	11 海賊衆を伊勢に募る。12 北条氏政と舊紙を交換。甲・相同盟復活。	5 信玄、將軍義昭の内書を返ける。	9・23 山内信昌の兵、甲府を出発。	10・3 信玄、大群を率いて甲府を出発。10・10 遠江に進攻。11 下旬の二保城攻略。	11・14 信玄の將秋山信友、美濃岩村城を攻略。12・22 三ヶ原の合戦。	1558 永祿元	1559 永祿二	1560 永祿三	1561 永祿四	1564 永祿七	1565 永祿八	1566 永祿九	1567 永祿十	1568 永祿十一	1569 永祿十二	1570 元亀元	1571 元亀二	1572 元亀三	1573 天正元	1574 天正二	1575 天正三	1576 天正四	1577 天正五	1578 天正六	1579 天正七	1580 天正八	1581 天正九	1582 天正十	1583 天正十一	1584 天正十二	1585 天正十三	1586 天正十四	1587 天正十五	1588 天正十六	1589 天正十七	1590 天正十八	1591 天正十九	1592 天正二十	1593 天正二十一	1594 天正二十二	1595 天正二十三	1596 天正二十四	1597 天正二十五	1598 天正二十六	1599 天正二十七	1600 天正二十八	1601 天正二十九	1602 天正三十
事	信玄、徳川・織田連合軍に大勝。次いで刑部に移り越年。12・28 信玄朝倉義景の近江撤退を難詰する。	1 信玄、三河に進攻。野田城を攻める。2 野田城を攻略。次いで長篠城に入る。	4・12 信玄、信州伊那駒場で死去(五十三歳)。勝頼武田氏を継ぐ。	3 勝頼、東美濃岩村村口に出陣。岩村城の付城十八城を陥れる。3・5 信虎、信濃高遠で病没(八十一歳)。	河に進攻。5・21 長篠の合戦で、緒・徳連合軍の銃火のまえに大敗。	4・16 勝頼、父信玄の葬礼を恵林寺で、快川紹喜大導師のもとに執り行。	1 勝頼、北条氏政の妹を妻に迎える。	3・13 上杉謙信、春日山城中で病死(四十九歳)。	12・24 勝頼、新府城(韮崎市)に移る。	1・25 勝頼の義弟木曾義昌、織田信長に通ずる。2・19 勝頼夫人、武田八幡宮に願文を捧げ武運を祈る。	3・3 勝頼、新府城に火をかけ岩殿城に向かう。	3・11 小山田信茂謀反。勝頼主従は天目山の途中、田野で織田方の挟撃を受け自刃。勝頼(三十七歳)夫人(十九歳)・信勝(十六歳)。	6・2 信長、本能寺で自刃。	信玄、徳川・織田連合軍に大勝。次いで刑部に移り越年。12・28 信玄朝倉義景の近江撤退を難詰する。	1 信玄、三河に進攻。野田城を攻める。2 野田城を攻略。次いで長篠城に入る。	4・12 信玄、信州伊那駒場で死去(五十三歳)。勝頼武田氏を継ぐ。	3 勝頼、東美濃岩村村口に出陣。岩村城の付城十八城を陥れる。3・5 信虎、信濃高遠で病没(八十一歳)。	河に進攻。5・21 長篠の合戦で、緒・徳連合軍の銃火のまえに大敗。	4・16 勝頼、父信玄の葬礼を恵林寺で、快川紹喜大導師のもとに執り行。	1 勝頼、北条氏政の妹を妻に迎える。	3・13 上杉謙信、春日山城中で病死(四十九歳)。	12・24 勝頼、新府城(韮崎市)に移る。	1・25 勝頼の義弟木曾義昌、織田信長に通ずる。2・19 勝頼夫人、武田八幡宮に願文を捧げ武運を祈る。	3・3 勝頼、新府城に火をかけ岩殿城に向かう。	3・11 小山田信茂謀反。勝頼主従は天目山の途中、田野で織田方の挟撃を受け自刃。勝頼(三十七歳)夫人(十九歳)・信勝(十六歳)。	6・2 信長、本能寺で自刃。																																																					

■武田家系図



よみがえ
蘇る戦国の遺香 — 武田神社宝物殿

大正八年の神社創建以来、全国の武田家関係者より、ゆかりの遺宝をご奉納戴き、昭和四十七年に開館いたしました。収蔵品に対峙致しておりますと、戦国の世に文字通り命を賭け、天下統一の夢に心血を注いだ武士達の情熱を感じずにはいられません。どうぞ、こゆつくりとご覧下さい。



武田信玄公花押



武田信玄公木像



信玄公画像土佐光貞作 (江戸時代)



武田二十四将図(江戸中期)



矢筒





金小実南蛮胴具足「武田家相伝」(戦国時代)



七星軍扇(戦国時代)



信玄公軍扇(戦国時代)



太刀「吉岡一文字」(重要文化財)